

## 8月4日(火)

広島市まちづくり市民交流プラザ北棟5階  
研修室ABC (広島市中区袋町6-3)

### スタート集会

【講演1】12:00～13:30 敗戦70周年の「戦後」責任

#### 上野千鶴子

敗戦から70周年。大きな犠牲を払った歴史から私たちは何を学んできたのだろうか？ 侵略と戦争の責任はもちろん問われなければならない。だが、国民の5人に4人が戦後生まれになった今日、戦争を起こし、止められなかった責任は戦後生まれにはない。とはいえ、戦後を生きてきた私たちには「戦後」責任がある。あの戦争の戦後処理をどのようになしとげたか、その歴史からいったい何を学び、何を学ばなかったのか？ 歴史が改ざんされ歪曲されようとしている現在、私たちが何をし、何をしなかつたかのツケをしたたかに支払われている。21世紀がふたたび「戦争の世紀」になることを、私たちは食い止められるのだろうか？



- 【Ses. 1】13:45～15:05 日本軍性奴隷と戦争責任  
渡辺美奈 (女たちの戦争と平和資料館wam事務局)
- 【Ses. 2】15:20～16:40 日本戦争犯罪と教科書・領土問題  
高嶋 伸欣 (琉球大学名誉教授)

## 8月5日(水)

広島市まちづくり市民交流プラザ北棟5階  
研修室ABC (広島市中区袋町6-3)

- 【Ses. 3】13:00～14:20 韓国・朝鮮人被爆者と市民運動  
市場淳子 (韓国の原爆被害者を救援する市民の会)
- 【Ses. 4】13:00～14:20 戦争責任と天皇制  
一日米戦争責任と安倍戦後70年談話を問う  
天野恵一 (反天皇制運動連絡会)
- 【Ses. 5】14:35～15:55 沖縄・辺野古新基地建設阻止! 安保・自衛隊・米軍再編  
安次富浩 (へり基地反対協)
- 【Ses. 6】16:10～17:30 戦争法制と明文改憲  
中北龍太郎 (弁護士、関西共同行動)

### メイン集会

【講演2】18:00～20:00 安倍政権を葬るなかで新しい世界を視野に捕える  
— 戦後日本国をめぐる原理次元での対決

#### 武藤一羊



安倍政権は、日本国を戦争する国家に変態させる強硬措置を異様なテンポで進め、日本を「世界の中心で輝く」大国、世界の権力中枢に武装大国としての参入を果たすという野心を公然と語り始めた。だが独力ではなく、衰弱しつつある米国覇権にさらに一体化し、奉仕することで野心を実現するというのだ。この強行突破の性格は、動因は何なのか。私たちは、安倍の政策に対決し、つぶしていくプロセスの中で、この政権の企て全体を見切り、その全体を葬る道を発見する。そして葬るなかで同時に私たちの創り出す世界を視野に捕える。これは原理次元の闘いだ。安倍は、戦前帝国との継承原理の復権を、それとは絶対に相容れない米国覇権原理に頼って実現するという危うい冒険に突っ込んでいる。私たちはそれに原理的に優位な立場で立ち向かう。その原理を私たちは「平和的生存権」を核にして戦後日本社会の運動の実践の中で育て上げてきている。それを取り出し、使ってみるときだ。原理は使うことで生き返る。

一日米戦争責任と安倍談話を問う